1) 肝と比べた脾への RI 集積は，milli MISA の方が平均 2 倍高く，かつ ^{99m}Tc-phytate と ^{99m}Tc-milli MISA のそれぞれにおける脾/肝の集積比はよく相関した．
2) 骨髄への RI 分布は両者同程度であった．
3) 腎の描出は ^{99m}Tc-phytate の方が高かった．
4) Back ground adirty は両者同程度であった．
5) 肝内 S.O.L. の描出に差はなかった．

以上より ^{99m}Tc-milli MISA は肝シンチ用の Agent として有用と思われた．

座長のまとめ（9〜12）　仲山　親

演題 9: ^{99m}Tc で標識した EDDA は 100% の標識率を示し，化合形態は安定で血中クリアランス，肝集積は ^{99m}Tc-EHIDA より良好であった．

演題 10: ^{99m}Tc-phytate 5 mCi 静注後 10 秒ごとに 60 秒まで早期イメージとしてポラロイドに記録し，さらに total image に 10 秒ごとの log image をかけて疾患ごとに検討を加えた．

演題 11: 確定診断が得られ，^{198}Au コロイドないし ^{99m}Tc-Sn-コロイドでシンチグラフィを行なった 52 例のび漫性肝疾患について，(1) 肝の形態，(2) 肝/脾，(3) 脾影，(4) 骨髄の描出度などの点について判定基準を作り検討を加えた．

演題 12: 同一症例に ^{99m}Tc-microsphere (Cis 製) と ^{99m}Tc-phytate により肝シンチを行ない，肝，脾，腎，骨髄などの描出度合，肝内 SOL の検出能，バックグラウンドなどの点について検討を加えた．

13. 消化器癌肝シンチグラフィにおける偽陽性例について

広田　嘉久　上野　助義　土亀　直俊
福井康太郎　仏坂　博正　片山　健志
（熊大・放）

昭和 49 年 4 月より昭和 53 年 12 月まで行なった約 3,500 例の肝シンチグラフィのうち，540 例の消化器癌患者の肝シンチグラムについて検討を行なった．全体の正診率は 483/540 (89.4%) であった．偽陽性例は 43 例にみられ，疾患別にみると食道癌 5 例，胃癌 8 例，大腸癌 5 例，胆道および膵領域癌25例であった．共通してみられる原因は，生理的欠損部位の欠損例，肝のう胞，肝硬変などであり，特徴的にみられるものとして，食道，胃癌における腹腔リンパ節腫脹による欠損，胆道および膵領域癌における胆管拡張による欠損であった．

14. 乳房，肋骨，腎による肝シンチグラム上の欠損様所見について——体位による比較

城野　和雄　坂田　博道　中條　政敬
篠原　慎治　（鹿大・放）

われわれは，肝内 SOL の検出における立位肝シンチグラフィの有用性を報告してきたが，最近高解像力シンチカメラによる撮像を行なうようになってから，肝外性因子による欠損像を以前より多く経験するようになった．

そこで肝外因子として乳房，腎，肋骨を取り上げ，これらの因子による欠損像の現われ方を撮像体位別に検討した．

対象は最近約 1 年間に立位と臥位の両体位で，^{99m}Tc-phytate による肝シンチグラフィを実施した症例で，乳房 (9 例)，腎 (6 例)，肋骨 (7 例) による欠損像が正面像で認められた 22 例である．

正面像におけるこれらの欠損像は，臥位よりも立位で出現しやすい傾向にあり，立位では乳房は右葉上部に，腎は右葉中下部に decreased activity area として，肋骨は右葉下外側縁にくびれた形で認められたが，臥位では縮小ないし消失がみられた．また両体位とも，右側面，背面像との比較により肝内 SOL との鑑別は可能であった．

15. 肝シンチグラムと超音波検査との比較検討

仏坂　芳孝　中山　信一　赤川　晴美
森田誠一郎　大竹　久　（久大・放）
矢野　潔　（県立柳川・放）

昭和 53 年 7 月 1 日より 54 年 11 月 30 日までの 1 年 5 か月間に，当科の外来入院患者で肝シンチグラムと超音波検査を併用した 80 症例について検討した．シンチグラム装置は，53 年 7 月 1 日より 54 年 9 月 10 日までは γ カメラ東芝 GCA 102 型，54 年 9 月 10 日以降は γ カメラ東芝 GCA 401 型，超音波検査は電子走査型超音波断層装置で行なった．

結果は，肝シンチグラムで SOL (+)，超音波で陽性所見を得たもの 30 例，SOL (−) で超音波で所見なし 22 例，うち超音波で見落とし 2 例，SOL (−) で超音波で所見あり 1 例，両方共所見なしは 27 であった．sensitivity は 62%，specificity は 96% という成績を得た．

Presented by Medical*Online